

露商の輸
入額

千人、喀什噶爾に約千人、烏魯木齊、烏什に各、數百人、其地各都會の地にも各、數十人あ
つざるは無し。

此の如く多數の露商を以て、省内の主要地に分布し在るの現況なれば、勢ひ新疆
に輸入する外國品は、大半彼等の手に占有せられ、彼等が本省に輸入する總額は、毎
年約一千萬圓に達し、其内一半は伊犁に、他の一半は塔爾巴哈臺及喀什噶爾を經由
す。其の主要なるものは、更紗、鋏器、陶器等にして、其額少からず、而して露國商人は
羊毛、生羊、牛、馬、及茶葉等を購ひて之れを其の本土に致せり。要するに露商は加工
品を輸入して、原料と貿易するものとす。

露清銀行

斯く商業の發達するに伴ひ、其の金融機關として、露清銀行の支店を烏魯木齊、塔
爾巴哈臺、伊犁、喀什噶爾の四ヶ所に設置し在り。

露人の鑛
業

獨り露人が鑛山事業に於ける、嘗て塔爾巴哈臺にて、露清共同して採銀公司を設
立せしが、遂に失敗に終れりと云ふを耳にせるのみ。他に此事業の計畫あるを聞
かず。清廷の承諾なきに因るならんか。

工業の經
營

工業として見るべきものは、伊犁の寧遠城外に、數所の製皮、製毛場及製粉場を有